

西新宿七丁目町会

青年部ニュース

記念号
No. 16

浜名湖の潮干狩

毎年恒例のリクリエーションを役員会にていろいろ検討の結果、浜名湖で潮干狩と決まりました。

六月四日、参加者一四〇名がバス三台に分乗し早朝六時十分常泉院前を出発しました。

あいにく出発時より雨が降り出しましたが、十時三十分無事浜名湖に着、現地に着いた時は小雨と変り「東京は一日中大雨とか」幹事一同ひと安心。

午後一時迄引潮と言う事で着替もそこそこにア

4B 田辺光夫

サリ取りへと各々散って行きました。

一時に全員員の入った袋を持って部屋に戻り昼食。

三時浜名湖を出発、七時三十分小雨の降る新宿へ無事到着しました。

往復のバスの中、潮干狩等は子供さんの作文を読んで下されば御理解頂けると思います。

長い道中部員(一号車)の皆様には飲み疲れはあっても乗り疲れは無かったように思います。

尚バスを格安に手配し



53 リクリエーション(潮干狩)会計報告

収入の部		支出の部	
会費	345,000	バス3台分	260,000
寄附金	83,000	チップ	15,000
利息(昭和信用)	138	入漁料	165,000
		(昼食等一切含む)	
		高速代3台分	53,400
		ジュース	6,400
		菓子	12,000
		缶ビール	12,000
		8ミリ代	10,000
		案内札印刷代	1,400
		下見代	10,000
		幹事反省会	10,050
部より繰入金	127,112	支出合計	555,250
収入合計	555,250		

て下さった小見山部長、渡辺昭治さん、入漁料等安く交渉して頂いた鈴木康夫さん初め幹事の皆さんの御協力で無事楽しい

一日を過ごせた事を感謝致します。また、いつもなが多勢の皆様方からの御寄附、本当にありがとうございます。う御座居ました。

ご寄附者名
(敬称略)

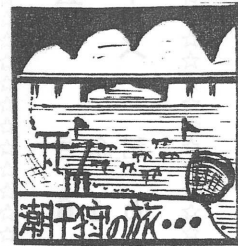
井高須木山葉井田辺橋田井藤丸
小見山葉井田辺橋田井藤丸
千荒恩会田米石浅伊金喜紗
恩会田米石浅伊金喜紗
会田米石浅伊金喜紗
田米石浅伊金喜紗
米石浅伊金喜紗
石浅伊金喜紗
浅伊金喜紗
伊金喜紗
金喜紗
喜紗
紗
代
ま
ッ
る
和信用金庫
形相互銀行

しおひがり

バスでしおひがりに行くとき、バスのなかでうたをうたいました。すこしたってからうみにつきました。みずぎにきがえしました。そしてこんどうさんといきました。こんどうさんはふねにのりきになつてしまいました。ふねからおりて、こんどうさんをまっていたいました。こんどうさんがのつてふねがきて、こんどうさんてよびました。あつ、いたのかっていいました。そして、こんどうさんといっしょにかいをとりました。こんどうさんといっしょにかいととるすこししかとれないから、おとうさんのところに

一年 おざわけいこ

ってとつたら、いっばいとれました。こんどいつたときこんどうさんととらないで、おとうさんととることになりました。のりこがはなみずをだしてあるから、ふねでしおひがりのおうちにえりましました。おとうさんといっしょにおふろにはいつてから、ごはんをたべました。おとうさんにおかねをもらって、ゲームをしました。かえるとき、なぞなぞをしました。



一年 すずきのぶえ

きょうは、たのしみにしていた、しおひがりです。あさ、おきたときは、くもっていました。でかけるとき、あめがふってきたけれど、しおひがりのバスは、どんどんはしりました。ついたときは、まだ、あめがふっていました。

一年 なかむらえり

わたしは、あさはやくおきて、じかんがきたのでおそとにでていきました。そしてばすにのつてけいこちゃんとうたをうたいながらいきました。はまなこについたので、めぐみちゃんとあさりをとりました。おおきいのはあんまりとれませんでした。

みんなあめのふるなかで、かいてとりにいきました。ちいさなかいばかりでした。

それから、おひるごはんをたべました。たべたあと、すこしあそびました。わたくしは、かえりのバスできもちがわるくなりしました。でもとてもおもしろかったです。

した。めぐみちゃんとおるちゃんでおふろにはいりました。そしてあそびました。かえるじかんがきたので、ばすにのつてけいこちゃんとなぞなぞをやりながらえりました。いちにち中あめがふっていたけれどたのしかったです。

一年 はんだまさみ

にちようびに、バスでしおひがりにみんなで行きました。雨がザアザアふってきたむかつたけど、おとうさんとわたしでいっしょけんめいしました。わたしはすこしで、お

三年 上野知美

わたしたちは、しよひがりに行きました。何日も前から、雨がふらなければいいなあと、天気よほうを聞いても、日曜日は雨というので、テルテルぼうずを作っておきました。

とうさんはたくさんとりました。そのなかに、かにもはいっていました。うちへかえってきて、おかあさんにかいのみそしるをつくってもらいたべました。また、みんなとバスでいきたいとおもいます。

ぼつぼつ雨がふって来ました。つくまでに晴れればいいなあと、思っていました。ついても晴れないので、私はカップをきて貝をひろう所まで、小さな船にのって行きました。貝を取る場所は浅かったので、もう少し深い所に行きました。水がとってもつめたく感じました。はじめのうちは、貝が小さくて取ってもいいのかなあと思ったけど、お

ねえちゃんが、

「あさりだからいいよ」と言ったので、どんどん手でほって取りました。二、三の手に取ったら、アサリの一つが、あぶくをふいていました。きつとわたしにあいさつをしていたのでしよう。

取っているとヤドカリもいて、手の中で長い目を出したり入れたりしてわたしの顔を見て、おもしろなかつたです。でも、しるかつたです。でも、

四年 松岡千登勢

六月四日は七丁目だけの遠足でしおひがりだった。朝、五時におきてお寺の前に来たバスにのつて、静岡県の浜名湖にいった。バスに乗ったら雨がふってきました。バスが発車

わたしはさむかつたのでお父さんにいって、また小さな船にのつてへやに一人で帰って来ました。後から、お父さんとおねえちゃんが帰って来たけど、その時になつたら、わたしは、まだまだ貝をとってあればよかったなあ、あと、あとから思いました。

こんどは天気の良い時に、もう一度、しよひがりにつれてもらいたいと思いました。

して、本を読んだり、おかしを食べました。とちゅうで三回ぐらいバスをとめて休みました。そして四時間ぐらいで浜名湖につきました。ついてから、レインコートを着て、よういをして行きました。行くときちゅう、モーター

今日は、浜名湖まで潮干狩りに行きました。あいにく雨でしたが、静岡県に入るといたしたこと

五年 田辺 精満

でも、貝は取れたことはとれた、でも小ちゃいのばかりで、がっくりだ。昨年とは大へんちがう。あみのふくろいっぱいに貝を取り、ぼくと父さんだけさきに帰り、母さん

+++++

はありませんでした。つくと、すぐ貝を取りに行きました。伊藤君と取る場所に着くと、たくさん取りはじめました。小さいのはにがしてやり、大

たちを船の待つところでずっと待っていました。さっそくよく朝、貝を食べた。小さいが味の良いのには、びっくり。からいりにし、お酒を入れてつくってくれた貝は、さいこうである。今度、八月には大きな貝をうら弁天島で取るつもりで、いまから楽しみである。

きいのをとりました。そのせいか、他の人よりだいたい量の差が出てきました。負けてたまるかと思いい、早く多くとる方法に変えました。どうも、少ししかいないので、ぼうの立っている方でとりました。そこは、大きいのがいっぱい取れました。おふろに入って昼食をしました。食べ終ると、外へ出て石投げや、やどがにを取って遊びました。

五年 糊倉 美有紀

今朝、五時三十分にお母さんに起こされて、どんよりくもっていた天気。バスが新宿を出るところもう降り始めた。長い時間バスに乗っていたけれど、薬のせいか気分よく着いた。

小嶋かなえちゃんと貝をとり、とり方がわからず、教えてもらったり、一生懸命にとりました。小雨が降っていたので、雨がっぱを着ても少し寒かった。お昼も食べて、おふろにも入り、おしゃべりをしたり、時間がたつのが早かった。

三時にバスに乗り、中でついぼくの十八番が出てしまいました。お父さんのいない間に司会をしてしまいました。大人を相手にあんがい面白いものです。そのうちお父さんがもどってきたので、しばらくしてやめ、バスの中は歌やクイズをしてにぎやかにとっても面白く、新宿へもどりしました。

ボートに乗りました。そしてモーターボートをおりて、水に足をつけました。とてもつめたかったです。水にはいって、少し歩いてからあしりをとりました。わたしは十五こぐらいしかとれませんでした。もう少し晴れていて水が少なければよかったと思います。寒くてあまりとれなくてあがつてしまいました。

五年 小嶋 香苗

わたしは、六月四日に浜名湖に潮ひがりに行きました。バスに乗った時雨じゃなく、くもりだったので安心していました。でも本当は少し雨になるんじゃないかと心配していたのです。少したつとやっぱり雨になったので

足をふいて、あしりのおべんとうを食べました。ゲームをして遊びました。帰りのしたくをしてバスにのって帰りました。バスの中ではマイクで男の大人の人が歌っておもしろかったです。高速道路を走って七時三十分ごろつきました。あしりのおつゆがとてもおいしかったです。

+++++

潮ひがりができなくなるんじゃないかと思いました。でも浜名湖に着くとやんできたので、さっそく潮ひがりをやりに出かけました。わたしは潮ひがりをやるのは初めてなので、一回ほるのに一つこか二こしかとれません。だからわたしは、お父さんがくまででほ

たところを横どりして貝をとっていました。だんだんなれてくると今度はありそうところをくまです、すなごあみに入れて、水であらってとるようになりました。そうしてやっとお父さんや友達と、そのうちにちやんとお父さんお母さんおじいちゃんおばあちゃんといっしょぐらになりました。寒くなったので休けい所に行つて、お風呂に入りました。とてもいい気持ちでした。それから雨がやんでいたの、ごはんを食べてから遊びに行きました。浜名湖に行くと、みち潮になっていたので、洋服がぬれないように遊びました。帰ろうとしたらくつがビショビショになっていたの、帰りのバスでは、は



だしになりました。やっとなについて、ごはんを食べようとしたけど、バスの中でおかしばかり食べていたので、ろくに食べられませんでした。ねる時、明日の朝は、あさりのみそするだなど思いました。今日はとても楽しい日曜だったなと思つてぐっすりねむりました。

雨天で迎えた潮干狩の旅!! とうなる事かと出発の時から心配でした。しかし、結論は「良かった」の一言につきると思ふ。

スケジュールに基づく運営が総勢一四〇名の大世帯を無事、出発点に戻したからである。晴天なら東名高速は混んだらう、潮干狩場もてんやわんやで、集合に手間取った事であろう等々、雨天であつても充分リクリエーションの主旨は達成されたと思ふ。

まず、車の流れのスムーズであつた事、潮干狩場がすいていて、充分貝も取れた事、一時的にも潮干狩の最中は雨が止ん

「雨天も楽しからずやリクリエーション」

書記 上野 勝 夫

だ事、昼食をする休憩所が楽々であつた事、皆様も思い出しとして記憶にあると思います。

これはすべて雨天によるたものであります。晴天による良さを味わう事が出来ませんでした、各参加者の趣向を取り入れたバス内の様子は、如何がでしたか?

思い思いの袋に貝を入れた姿を見て、無事常泉院前に到着した時、ふと「雨天も楽しからずやリクリエーション」と一言つぶやく。



大会月	参加数	優勝者名
三 月	17 名	一夫 一夫松二孝子一子郎美止子治一子郎
四 月	18 名	栄文 恵勝勝久隆 澄栄皓一繁中澄盟隆澄一一?
五 月	21 名	生永 野野岸藤水藤生村日水め 藤塚村藤日日
六 月	21 名	笹豊 深上山近清伊笹中春清の伊赤中伊春春
七 月	12 名	
八 月	20 名	
九 月	22 名	
十 月	18 名	
十一 月	15 名	
十二 月	19 名	
一 月	22 名	
二 月	18 名	
三 月	15 名	
四 月	22 名	
五 月	22 名	
六 月	22 名	

◎ボーリング 同好会だより◎

月例大会(シングル・ダブルス)として再開以来、会員数三十五名と云う愛好家を軸として、着着と定着してまいりました、一人でも多くの方との交流を通して町内が連帯感をもつような、



また、世の中きびしい時の一ぶくの清涼剤として楽しい会に発展してゆければと思つています。

七丁目にお住みの方でしたら、どなたでも参加して一ヶ月の内の少しの時間、無心にボールを投げて皆さんとの交流を楽しみたいと思ひます。

昨年三月再開以来の参加人数と優勝者名です。

帰りのバスの中では、歌をうたったりしてにぎやかにすごせた。

家に着いて、今日の楽しかったことを話して、おみやげをわたした。妹には色えんぴつ、お母さんにはさくら貝、お父さんにはわさび漬をわたしました。

六年 大塚 和美

六月四日、私たちは、静岡県の浜名湖へ潮干狩りに行きました。

てるてる坊主をたくさん作ったのに、出発する時、雨が降って来たのでがっかり。

でもバスの中では、歌をうたったり、食べたり飲んだりしていたら、上野さんが、「黒いではなくそ」と言う歌をうたった

ので大笑い。

しばらくすると、浜名湖につきました。

雨が降っていたので、カップを着て貝を取る所まで船で行き、水に足を入れたと、冷やっとしました。貝を取ろうと、手を入ろうとしたが、虫がいたので、熊手で

はって取りました。

貝は魚とちがって逃げないのでたくさん取れました。



毎日たくさん取るのにどうして居なくならないのかな。

今度行く時は、もっと

412B 岡 信喜

楽しみにしていた西新宿七丁目青年部の潮干狩りが来た。当日、浜名湖まで約四時間の間、あいにくと雨が降り続いた。けれどバスの中は明るく、皆の歌声に楽しくすごした。海の家に着いてあさり

大きな貝を取りたいと思ひます。

「早く行きたいなあー」

を採りに出かけ三十分ほどで雨もあがり、しかし少し寒いくらいだった。あさが少し小さいが、子供達皆、楽しそうに貝やヤドカリ等とよるこんで遊んでいた。

遊んだ後の昼食も、あさり御飯で美味しく、町内の皆様とも親しさが増し、楽しくすごした。

今回の青年部のレクリエーションは雨で残念だが、皆様とのたのしいふれあいの中で、よりよい親睦となり、ありがとうございました。又、次回にも楽しい企画を組んで皆様と一緒に楽しみたいと思つて居ります。

★新入部員紹介

2 B 柴山俊熙君

3 B 棚倉健次君

4 B の2 将田星一君

" 宝蔵 隆君

" 佐藤十四男君

5 B 小野沢富士雄君

8 B 宇佐美洋一君

★ご結婚おめでとう

4 B の2 将田星一君

5 B 鷺谷正子さん

★お誕生おめでとう

2 B 鈴木鉄雄君

長女 麻希ちゃん

★お知らせ

「心頭滅却すれば火もまた涼し」もうすでにこの域に達した方も、まだこの域に達しない方もビアガーデンで生ビールでもグイーと飲んで、この夏の異常な暑さを吹き

婦人友の会の現況等

会長 恩田多賀子

『青年部ニュース』に婦人友の会の現況等と云うタイトルで書かされるのは初めてのこと故、非常な抵抗がある。お陰様で、婦人友の会もそろそろ三年目を迎え、会の存在価値を町会の方々にも知っていただけたと思う。

人間には「集団性本能」がある。いかに優れた人物でも、一人では何もなし得ない。人各々に特性があり、知能も異なる。各人各様一つの目標に向かってもらわなければならぬ。

易でない。

多勢の人間が一つ目標に向かって動く、参加意識のなんのと云われるけれども、個人の自由意志である。組織内の「人」の中にも「心」がある。人間あつての組織であり、社会であるはず。これらも七丁目青年部は婦人友の会を妹として末永く御指導下さいます様お計らい下さい。

《編集後記》

3 B 尾沢孝宜

『勝負ごと』

何年か前の映画で『ハスラー』というビリヤードの名手の話を思い出しました。長時間にわたる試合の末、酒を飲み続けた人は最後に勝負で負けてしまう。こんな内容だったと思います。

でも我々の場合はどうかというと、むしろ反対なような気がします。短時間に勝負のつく、ボーリング、ゴルフ、麻雀等は特にジョッキを一杯のみ干して、リキまず、緊張をはぐして臨む方がむしろ好結果を生むのではないかと思えますが、みなさんは如何でしょうか。

発行 西新宿七丁目町会青年部
編集 町会青年部編集部